

額田木の駅プロジェクト

令和6年度 事業報告書



形埜小学校 森林環境の学習 (R7.2)

目次

- 1、主な活動報告
- 2、出荷者登録と出荷状況
- 3、森の健康券の利用状況
- 4、事業推進の取り組み
- 5、収支報告

1、主な活動報告

額田木の駅プロジェクトは10年目を迎え、これまでに開催した定例会議は100回を超えた。令和6年度も継続して間伐材の買取と地域通貨の流通を行った。

株式会社高木製作所様およびデンソーグループはあとふる基金様から引き続きご支援・助成をいただきプロジェクトを推進した。また、岡崎市地球温暖化防止隊や形埜小学校の企画で森林環境教育を実施し、森林環境の課題や木の駅の取り組みについてPRを行った。

日時	活動内容	主な協議事項、実施内容
4月4日	第96回実行委員会	新年度挨拶、名簿確認、令和6年度のスケジュール確認
5月2日	第97回実行委員会	平木新委員長の就任、収支報告、予算案の確認
6月6日	第98回実行委員会	森券デザイン報告、令和5年度事業報告書
7月4日	第99回実行委員会	木材利用の事例紹介や乾燥に関する研究について
8月1日	第100回実行委員会	森林関連イベントの案内、枝虫材の被害について
9月5日	第101回実行委員会	地球温暖化防止隊の学習会、中日新聞丹羽さんの記事
10月3日	第102回実行委員会	森券後期デザイン選定、関連イベント案内
11月7日	第103回実行委員会	デンソーグループはあとふる基金助成、地域おこし協力隊の募集
12月5日	第104回実行委員会	形埜小勉強会企画、竹プロジェクトの紹介
1月9日	第105回実行委員会	かかり木の処理や安全装備、安全講習会について
2月2日	地球温暖化防止隊学習会	座学、夏山土場見学、木下町の間伐現場案内
2月6日	第106回実行委員会	木の駅研究の紹介、岡崎市の林業に関する補助金説明
2月20日	形埜小木の駅体験	5年生を対象に森の調査、間伐体験、出荷体験
3月6日	第107回実行委員会	最終出荷量報告、石原土場の駐車場利用希望について



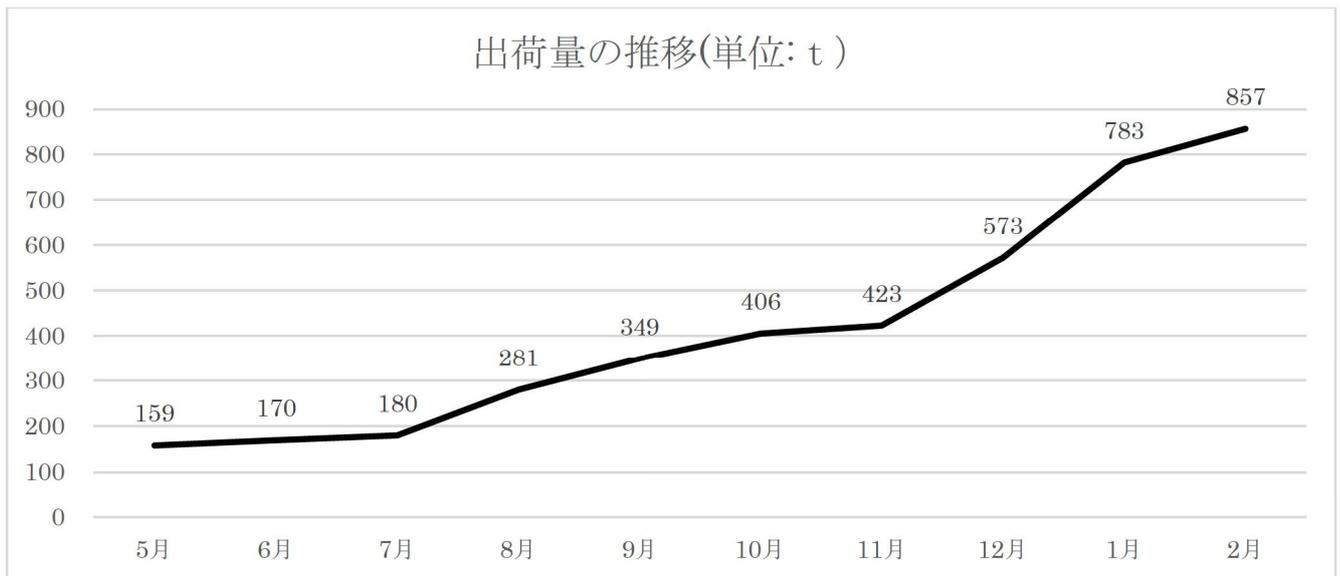
出荷された間伐材

2、出荷者登録および木材の出荷状況

令和6年度末時点での出荷登録者は109名(昨年度から1名減少)となった。うち実際に年度内に出荷した人数は21名であり、前年度の26名より減少している。

今年度の原木出荷量は856tで、当初予算の1000tを下回る結果となった。出荷量減少の背景にはメンバーの高齢化や出荷条件の良い山の減少、間伐補助金の予算が獲得できずに間伐ができなかった等の要因が考えられる。プロジェクト開始以降、10年間でのべ10309tの木材が出荷された。

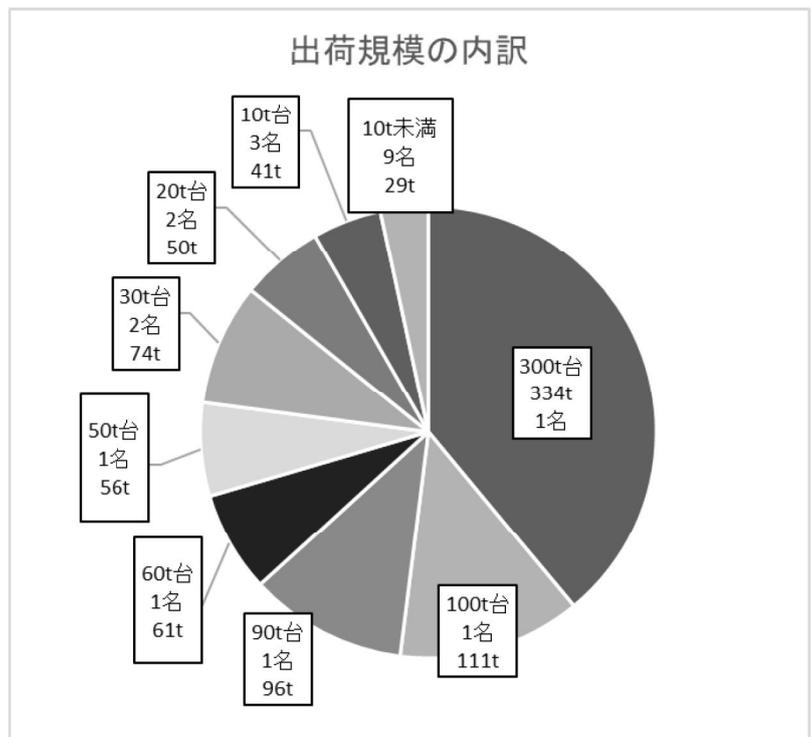
■出荷トン数の推移



■出荷者の地域別分布

地区	人数	前年度比
宮崎地区	33名	-1名
豊富地区	14名	±0名
形埜地区	34名	±0名
下山地区	10名	±0名
額田地域外	18名	±0名
合計	109名	-1名

■出荷規模の内訳



3、森の健康券利用状況

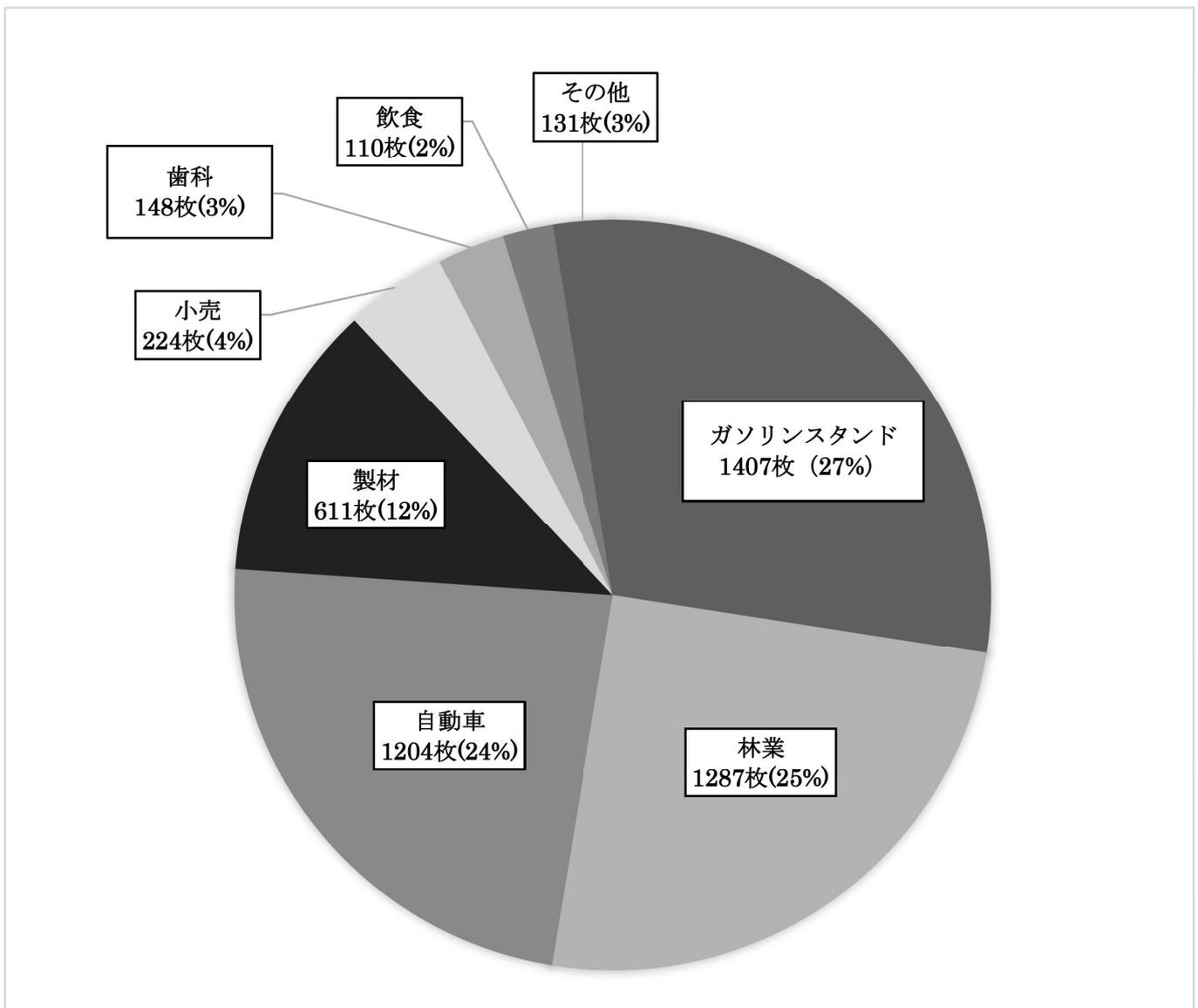


（前期デザイン。原画は形埜小の稲葉万結さん）



（後期デザイン。原画は形埜小の星野志季さん）

- 流通期間 令和6年6月6日～令和7年3月31日
- 登録店舗数 58 店舗（前年度比 -1 店舗）
- 発券枚数 5132 枚 ※513 万円相当
- 回収枚数 5122 枚(99%) ※未利用枚数 10 枚
- 商店間の2次利用による追加経済効果 3万7千円
- 業種別内訳（最終換金地点の内訳）



4、事業推進の取り組み

■形埜小学校木の駅体験

2月 20 日に形埜小学校の 5 年生を対象に木の駅体験を実施した。学校の裏山にて間伐、搬出、検尺を行い、出荷した木材の材積計算や森の健康券の金額計算などを行った。

形埜小学校では木の駅プロジェクトが始まって以来 10 年にわたって同様の体験活動を実施してきた。この功績を賞され、公益社団法人国土緑化推進機構の主催する令和 6 年度全日本学校関係緑化コンクールにおいて協力者賞を受賞した。

協力賞(ノースロップ賞) 額田木の駅プロジェクト実行委員会の紹介

額田木の駅プロジェクト実行委員会では、形埜小学校の児童に対して、森林の調査から間伐、搬出、出荷までの流れを体験できる「子ども木の駅体験」を行い、森林の健康状態の観察や間伐体験について指導を行うとともに、間伐材を積極的に利用することの大切さを伝えています。これらの活動を通じて、地域の子供たちにふるさとの魅力を伝えています。



間伐体験の指導

愛知県の HP より(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/gakkouryokka5.html>)

5、令和6年度収支報告(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

■収入の部

科目	内訳	予算額	決算額	差額	備考
売上	チップ材売上	3,503,500	2,342,886	-1,160,614	
	その他売上	660,000	458,640	-201,360	薪用材
負担金収入	岡崎市負担金	3,255,000	2,805,050	-449,950	856トン×3,000円、事務経費
会費収入	出荷者会費	100,000	21,000	-79,000	
事務手数料	出荷事務手数料	318,150	270,000	-48,150	地域通貨発券料×5%
その他	寄付金、雑収入	175,000	761,605	586,605	協賛金、寄付金等
前期繰越金		1,058,099	1,058,099	0	
収入計(A)		9,069,749	7,717,280	-1,352,469	

■支出の部

項目	内訳	予算額	決算額	差額	備考
地域通貨	地域通貨	6,363,000	5,399,000	-964,000	
	地域通貨印刷費	200,000	200,200	200	
普及啓発費	チラシ等印刷費	15,000	9,460	-5,540	
消耗品費	事務用品等	30,000	24,090	-5,910	
	のぼり	90,000	85,800	-4,200	
賃借料	土場使用料	100,000	100,000	0	
通信費	郵送料	10,000	3,300	-6,700	
人件費	事務局長人件費	396,000	396,000	0	
	地域通貨清算人件費	257,850	235,430	-22,420	
租税公課	市県民税	150,000	200,100	50,100	
その他	事業推進費	50,000	15,000	-35,000	
	土場整備費用	100,000	146,300	46,300	
	手数料	8,000	5,940	-2,060	振込手数料、両替手数料
	予備費	1,299,899	0	-1,299,899	
支出計(B)		9,069,749	6,820,620	-2,249,129	

収支差額(A-B)	0	896,660		次期繰越金
-----------	---	---------	--	-------